

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	イデア IT カレッジ阿蘇
設置者名	学校法人 イデア熊本アジア学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	IT ソリューション学科	夜・通信	2094 時数	160 時数	
		夜・通信			
文化・教養専門課程	グローバル IT ビジネス学科	夜・通信	1746 時数	160 時数	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	イデア IT カレッジ阿蘇
設置者名	学校法人 イデア熊本アジア学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	民間企業経営者	2020.10.24.～ 2023.10.23	民間企業と連携。 経営者としての、 経営感覚を学校 経営に反映させる。
非常勤	民間企業経営者	2020.10.24.～ 2023.10.23	民間企業と連携。 経営者としての、 経営感覚を学校 経営に反映させる。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	イデア IT カレッジ阿蘇
設置者名	学校法人 イデア熊本アジア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

- ・今年12月までに企業の動向、求人ニーズなどを聞き取り、それに対応する形で、翌年度の授業科目を策定する予定である。
- ・来年2月に教務会議を開催して、教員と情報を共有し、教員はそれに基づき、年度開始までにシラバスを完成する予定である。
- ・授業計画書の作成・公表時期  
作成時期は、1月から2月末日まで。公開時期は、4月である。

授業計画書の公表方法 | ホームページ <https://iica.jp/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

・評価基準

各授業科目の評価は、授業の到達目標の習熟度・理解度をもってなされる。また学習評価を多面的に行うために以下の評価基準を設け、教科の特性によりその中から2つ以上を選択することで、総合的な評価を行う。各授業科目の評価配分や実施時期、内容、方法については、シラバスの「成績評価の方法」欄に記載する。

時期	内容(例)	実施方法(例)	評価配分(例)		
			①	②	③
授業中	平常点	授業態度、出席率等	10%	30%	30%
	課題	レポート、提出物の提出状況等	—	70%	—
	理解度	小テスト結果、実技評価等	30%	—	70%
終了時	終了試験	筆記試験等	60%	—	—
※評価の配分合計が100%になるように設定			100%	100%	100%

・成績の評価は、各授業科目の評価は、学習状況や試験の成績をもとに次の評語によって掲示される。

評語	A	B	C	D	F	
点数	100~90	89~80	79~70	69~60	59点以下	失格

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対評価による毎期末の各学生に与えられた評価を各個人に通知するとともに、一覧表にして下位グループには、通常半年に1回行う面接に加えて、今後の進路について面談を行う予定である。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一学年で履修すべき過程を修了し、かつ第二学年において履修すべき過程を修了した者のみを、卒業認定会議にて審議し、その結果に基づいて校長がこれを認定する予定である。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	イデア IT カレッジ阿蘇
設置者名	学校法人 イデア熊本アジア学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
財産目録	ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
事業報告書	ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
監事による監査報告（書）	ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	ITソリューション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間	2,318 単 位時間	単位時間/ 単位	288 単位 時間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			2,616 単位時間				
生徒総定員 数		生徒実員 数	うち留学生 数	専任教員 数	兼任教員 数	総教員数	
80人		23人	8人	5人	19人	24人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養	グローバル IT ビジ ネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間	2,178 単 位時間	単位時間/ 単位	288 単位 時間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			2,466 単位時間				
生徒総定員 数		生徒実員 数	うち留学生 数	専任教員 数	兼任教員 数	総教員数	
60人		10人	2人	5人	13人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年 12 月までに企業の動向、求人ニーズなどを聞き取り、それに対応する形で、翌年度の授業科目を策定する予定である。</li> <li>来年 2 月に教務会議を開催して、教員と情報を共有し、教員はそれに基づき、年度開始までにシラバスを完成する予定である。</li> <li>授業計画書の作成・公表時期</li> </ul> <p>作成時期は、1 月から 2 月末日まで。公開時期は、4 月である。</p>						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価基準</li> </ul> <p>各授業科目の評価は、授業の到達目標の習熟度・理解度をもってなされる。また学習評価を多面的に行うために以下の評価基準を設け、教科の特性によりその中から 2 つ以上を選択することで、総合的な評価を行う。各授業科目の評価配分や実施時期、内容、方法については、シラバスの「成績評価の方法」欄に記載する。</p>						
時期	内容（例）	実施方法（例）	評価配分（例）			
			①	②	③	
授業中	平常点	授業態度、出席率等	10%	30%	30%	
	課題	レポート、提出物の提出状況等	—	70%	—	
	理解度	小テスト結果、実技評価等	30%	—	70%	
終了時	終了試験	筆記試験等	60%	—	—	
※評価の配分合計が 100%になるように設定			100%	100%	100%	
<p>・成績の評価は、各授業科目の評価は、学習状況や試験の成績をもとに次の評語によって掲示される。</p>						
評語	A	B	C	D	F	
点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59 点以下	失格
卒業・進級の認定基準						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絶対評価による毎期末の各学生に与えられた評価を各個人に通知するとともに、一覧表にして下位グループには、通常半年に 1 回行う面接に加えて、今後の進路について面談を行う予定である。</li> <li>第一学年で履修すべき過程を修了し、かつ第二学年において履修すべき過程を修了した者のみを、卒業認定会議にて審議し、その結果に基づいて校長がこれを認定する予定である。</li> </ul>						
学修支援等						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学費などの分納制度、学校独自の減免制度、留学生の減免制度を用意している。</li> <li>個別面談を年 2 回実施している。</li> <li>学生支援窓口を設けて、個別に学生の相談に応じられるよう職員を配置している。</li> </ul>						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	0 人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
IT ソリューション 学科	100,000 円	700,000 円	200,000 円	その他の教材教具費は、テキスト代や一人一台支給するパソコン、健康診断費用、保険代等を含む。
グローバル IT ビジネス学科	100,000 円	700,000 円	200,000 円	その他の教材教具費は、テキスト代や一人一台支給するパソコン、健康診断費用、保険代等を含む。
修学支援 (任意記載事項)				
学費などの分納制度、学校独自の減免制度、留学生の減免制度を用意している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学生を対象とした本校に対するヒアリングや教職員を対象としたアンケート調査を行う。それをふまえて下記のメンバーにより学校の理念、授業内容、就職へのアプローチ、地域貢献などについて評価をいただき、今後の学校運営の方向付けとする予定である。今年が開校年度であるため、2022 年度末までにその結果を公表する予定である。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専門学校 理事		業界識者
IT 企業経営者		実務経験
観光事業者		実務経験
保護者代表		実務経験
地域団体代表		地域代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公表 <a href="https://iica.jp/">https://iica.jp/</a>
--



(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	イデア IT カレッジ阿蘇
設置者名	学校法人 イデア熊本アジア学園

### 1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

### 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。